



contents

令和4年度大学祭 第26回 汐風祭	01
教育懇談会実施報告	03
ホームカミングデー	03
古本掘り出し市	03
学生の活動	04
課外活動特集	05
大学の取り組み	09
令和4年度 卒業式について	10
ひとくちメモ	10
編集後記	10



令和4年度大学祭「第26回汐風祭」が開催されました。新型コロナウイルスの影響により、昨年は中止、昨年はオンラインのみでの開催となりましたが、今年は3年ぶりに対面での実施となりました。

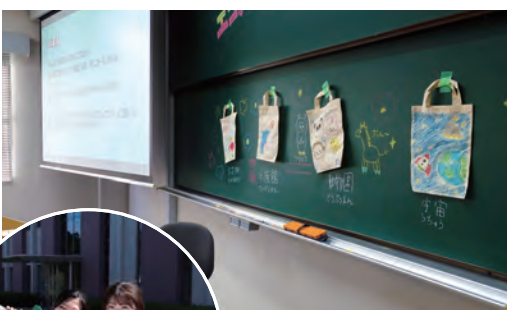
アーティスト・お笑い芸人のライブや吹奏楽団の演奏、模擬店など大学祭らしい雰囲気をもつ多くの来場者を楽しんでいただきました。



今年度の大学祭は、10月1日（土）・2日（日）の2日間にわたって開催されました。新型コロナウイルスの影響により中止やオンライン開催を経て3年ぶりに対面での開催となった今回は、「捲土重来〜未来を想造する〜」をテーマにし、SDGs（持続可能な開発目標）も意識した様々なイベントを企画しました。体育館のメインステージでは、クイズ企画やアーティストライブ、お笑い芸人のステージが行われ大盛況でした。



円形広場では、焼きそばやチョコロス、フルーツ飴などの飲食物からバーレーンアートや小物販売まで多彩な模擬店が約20店舗出店され、各店舗ともにぎわっていました。



1・2年生で構成される大学祭実行委員会には120名を超える学生が参加しました。ただ、3年ぶりの通常開催のため、前回の通常開催を経験した学生がいない中で文字通りゼロからのスタートとなり、試行錯誤しながらの準備・運営となりました。それでも、「自分たちから新しいスタート」という気持ちで取り組み、2日間合計で3年前を大きく上回る約4,800人の方にご来場いただき、大盛況の大学祭を成功させることができました。ご来場いただきました皆様、開催にあたりご協力・ご協賛いただきました皆様、本当にありがとうございました。

また、ステージ以外でも、子どもたちにSDGsを知ってもらうための看板設置やエコバック作り、本学の指定強化クラブである陸上競技部の熊野先生・大沼先生と部員による陸上教室、社会福祉学部部の平林先生のゼミによる体験イベント、茶道部によるお茶席体験などの体験系プログラムや吹奏楽団による演奏披露などもあり、大人から子どもまで幅広い年代が見て・聴いて・体験できる大学祭として楽しんでいただけたと思います。



実行委員長インタビュー



実行委員長 田辺 裕基
教育学部保健教育学科2年
（岡山県 関西高校出身）

今年の大学祭「第26回汐風祭」は3年ぶりに来場型での開催となりました。3年ぶりの来場型開催ということで、前回の来場型開催のことを知っているメンバーが実行委員会の中にいなかったため、準備が間に合うか、楽しみにしていたいる地域の方や在学生の期待に応えられるか、当日の運営がうまくできるかなど不安やプレッシャーもありました。

しかし、執行部18名を中心に総勢123名の実行委員会のメンバー全員で協力し、大きな事故やトラブルなく開催することができたことは大きな自信につながりました。その結果、2日間合計で約4,800人の方に来場いただき、楽しんでいただくことができて本当に良かったと思います。

本会主催の教育懇談会につきまして、コロナ禍においてオンライン開催となっておりましたが、遠方の会員の方の利便性も考慮し、今年度も引き続きオンラインと対面でのハイブリッド形式での開催となりました。

学長の挨拶、各学部・学科長による学部・学科の学びの特徴、就職支援の状況報告等につきましては、大学ホームページでのオンデマンド配信とさせていただきます、ご好評いただいております。ご子女の担当教員との個別面談につきましては、大学に超越したく対面方式とオンライン会議システムを活用したりリモート面談、電話やメールでの相談とを選んでいただける形式での実施となりました。大学の現状や就職活動支援の方針や内容、ご子女の大学での様子などを会員の皆さまにお伝えする貴重な機会としていただけたのではないかと思います。

学長挨拶・各学部・学科長による学部・学科の現状報告等は
こちらのQRコードからご覧いただけます。
(パスワード: **0930**) ※半角数字



10月1日(土)・2日(日)に校友会主催のホームカミングデーを開催いたしました。

「昨年、昨年はコロナ禍の影響もあり開催を見送っておりましたが、今年度は大学祭の通常開催に合わせて3年ぶりの開催となりました。2日間で100人を超える卒業生の方々が来校し、懐かしい友人や教職員との再会を楽しみました。」



図書館では10月1日(土)～10月10(月)の期間に「古本掘り出し市(協力:赤穂高等学校校図書部・赤穂警察署・赤穂市民病院)」を開催いたしました。本学学生・教職員をはじめ、赤穂高等学校校図書部・赤穂警察署・赤穂市民病院のご協力のもと、約2,000点の図書や雑誌を準備することができました。特に10月1日(土)・2日(日)は大学祭と同時開催であり、多くの方にご来場・ご購入いただきました。収益金は全国学校図書館協議会「大規模災害により被災した学校図書館への支援※1」へ寄付いたします。

また、図書の一部を「ホンデリング」本でひろがる支援の輪※2へ寄付いたします。



※1「大規模災害により被災した学校図書館への支援」大規模な自然災害による被害に遭った学校図書館の蔵書や施設・設備に著しい被害を受けた日本国内の地域には特定の学校に対して、学校図書館機能復興への支援を図るために公益社団法人全国学校図書館協議会が行っている事業

※2「ホンデリング」本でひろがる支援の輪」認定特定非営利活動法人全国被害者支援ネットワークが行っている。不要になった本を犯罪被害にあった方々の支援活動に活用する取り組み

学生の活動



エコレシピ博覧会2022で審査員賞受賞

8月28日(日)アクリエひめじにて開催された「ひめじエコレシピ博覧会2022～持続可能なもう一つの家庭科授業～」において教育学部児童教育学科 廣ゼミの学生グループがエントリーし、審査員賞を受賞しました。

同事業は、JCI公益社団法人姫路青年会議所主催で、フードロス問題の理解と少しでも削減する意識を持ってもらうことを目的として開催されました。西播磨の高校生、大学生、福祉施設、コープこうべ、食育団体など20組が参加し、幅広い方にフードロス削減のレシピをポスターセッションで発表しました。審査員から3組、当日来場者の投票で2組の計5組が表彰されました。



パラ卓球国際大会で上位入賞

本学学生の北川雄一郎さん(社会福祉学科 2年)が9月に行われた2つの国際大会で上位入賞しました。まず、9/8～10に行われたフィンランドパラオープン2022の男子シングルス クラス2-3(車いす)において第3位となり、銅メダルを獲得、続く9/30～10/2に行われたグreekパラオープン2022でも同クラスで6位入賞となりました。

北川さんはパラ卓球 男子クラス3(車いす)の世界ランキングが50位(2022年10月1日付)となっており、2024年にパリで開催されるパラリンピック出場に期待が高まっています。



陸上競技部

創部初 全国大会の表彰台 & 多くの大会で上位入賞

6月に開催された第38回U20日本陸上競技選手権大会(兼 2022U20世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技会)において、男子三段跳に出場した末藤唯人さん(社会福祉学科 1年 大塚高校)が第2位(銀メダル)に輝きました。これは、陸上競技部創部以来初の全国大会での表彰台という快挙でした。

また、7月に開催された秋父宮賜杯第75回西日本学生陸上競技対校選手権大会(西日本インカレ)の男子10000mにおいて東原知輝さん(社会福祉学科 1年 神港学園高校)、女子走高跳において渡邊里咲さん(保健教育学科 2年 作新学院高校)がそれぞれ8位入賞という結果を収めました。

さらに、10月に開催された2022関西学生陸上競技種目別選手権大会(兼 第44回関西学生混成選手権大会)において、男子3000m障害 第2位 有田優也さん(保健教育学科 3年



赤穂高校)、男子三段跳 第2位 末藤唯人さん、男子5000m 第3位 東原知輝さん、女子100mハードル 第3位 吉村美咲さん(保健教育学科 3年 神戸山手女子高校)、女子4×100mリレー 第5位 1走 津村友愛(社会福祉学科 2年 大塚高校)、2走 後藤みのり(社会福祉学科 1年 北条高校)、3走 谷本さなり(保健教育学科 2年 金光学園高校)、4走 中家愛希(児童教育学科 2年 姫路商業高校)となり、4種目で表彰台、2種目で入賞という創部以来初の好成績を収めました。

また、各都道府県や地区大会においても優勝や上位入賞などの好成績を続々と収めており、今後のさらなる飛躍が期待されます。



サッカー部

2年連続総理大臣杯出場 & 初のJリーガー誕生



6月に開幕した第51回関西学生サッカー選手権大会(兼 第46回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント関西予選)においてベスト4に進出し、昨年の初出場から2年連続で総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントへの出場権を獲得しました。

関西学生サッカーリーグでは、今季から3年ぶりに1部復帰を果たし、1部前期終了時点で4勝5敗2分の8位と上位進出をうかがう位置で折り返しました。後期も第8節終了(10/30)時点で3勝2敗3分で通年順位が7位

と一つ順位を上げております。2勝の中には、強豪校の関西学院大学から上げた1勝も含まれており、上位大学とも互角以上の戦いを繰り広げています。

さらに、2015年のチーム発足以来、初となるJリーガーも誕生しました。MF谷本駿介選手(社会福祉学部 4年 大阪学芸高校 セレソン大阪U-18)が愛媛FCからのオファーを受け2023年度の入団が内定しました。谷本選手はチームの主力選手として、関西学生サッカー1部リーグの前期

終了時点のアシストランキングで2位につけるなど活躍しており、来年から愛媛FCでの活躍に期待が膨らみます。



剣道部

個人・団体ともに全国体会上場

5月に開催された第52回関西女子学生剣道選手権大会において本学の喜多山瑞希さん(保健教育学科 1年 明石高校)がベスト16に進出し、第56回全日本女子学生剣道選手権大会への出場権を獲得しました。喜多山さんは、7月に日本武道館で行われた全国大会でも環太平洋大学、東北福祉大学の選手を破りベスト32に進出しました。

また、9月に行われた第70回関西学生剣道優勝大会では、男子団体がベスト8に進出し、10月30日にエディオンアリーナ大阪で開催予定の第70回全日本学生剣道優勝大会の出場権を獲得しました。

個人・団体ともに全国大会出場を果たし、今後の剣道部の活躍に期待が膨らみます。



男子バレーボール部

ビーチバレー全国大会出場＆1部入替戦進出

7月に開催された関西大学ビーチバレーボール男女選手権大会において、男子バレーボール部の小林凌さん(保健教育学科 3年 須磨友が丘高校)・長野拓弥さん(保健教育学科 2年 神戸学院大学附属高校)ペア(サブメンバー 松原佳太 児童教育学科 2年 津名高校)がベスト8に進出し、第34回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会への出

場権を獲得しました。

また、部全体としては、関西大学バレーボール連盟2部秋季リーグにおいて5勝2敗で第2位となり、1部校との入替戦出場を決めました。惜しくも入替戦で1部校に敗れ、創部初の1部昇格は果たせませんでした。来季こそ悲願の1部昇格を果たすことができるか、男子バレーボール部の戦いに注目です。

女子バレーボール部

創部5年目で初の全日本インカレ出場＆全日本クラブカップベスト8進出

今年度から関西大学バレーボール連盟1部リーグに昇格しリーグ戦を戦いました。初めての1部リーグ戦では苦戦しましたが、春季・秋季ともに1部残留を決め、来季は1部での上位進出が期待されます。また、春季・秋季の総合得点で11位となり、創部5年目にして初となる全日本インカレの出場権を獲得しました。

さらに、女子バレーボール部では、選手育成と部員全員の出場機会確保のためにクラブチーム「関西福祉大学ウェルフェアリーズ」としても活動しており、こちらでも好成績を収めております。6月に開催された全日本6人制バレーボールクラブカップ女子選手権大会兵庫予選大会において、強豪チームを撃破し見事に準優勝、全国大会の出場権を獲得し、出場した全日本6人制バレーボールクラブカップ女子選手権大会

においてもベスト8に進出しました。さらに、同月に行われた近畿6人制バレーボールクラブ女子選手権大会において、大会2連覇とベスト4のうち3つを関西福祉大学ウェルフェアリーズが独占し、圧倒的な大会となりました(部員数の関係で3チームに分けて出場したため)。

この優勝により、天皇杯・皇后杯の近畿ブロック出場権を獲得しました。

学連登録とクラブ登録の両チームが好成績を収め、選手の活躍の場



が広がっており、今後も女子バレーボール部の活躍に注目です。



- 開学：平成9年(1997年)4月
- 開設：(社会福祉学研究科修士課程)平成21年(2009年)4月
(看護学研究科博士前期課程)平成24年(2012年)4月
(看護学研究科博士後期課程)平成29年(2017年)4月
(教育学研究科修士課程)平成30年(2018年)4月
(発達教育学部)平成26年(2014年)4月
(教育学部)平成30年(2018年)4月(発達教育学部を名称変更)
(保健教育学科)平成30年(2018年)4月
- 学部・学科：社会福祉学部・社会福祉学科
教育学部・児童教育学科
教育学部・保健教育学科
看護学部・看護学科
- 大学院：社会福祉学研究科修士課程
教育学研究科修士課程
看護学研究科博士前期課程
看護学研究科博士後期課程
- 学長：加藤 明
- 教員数：専任(助手を含む)
社会福祉学部 17名
教育学部 26名
看護学部 31名
社会福祉学研究科(7名)
教育学研究科(8名)
看護学研究科(17名)
- 職員数：55名(派遣職員含む)
- 学生数：社会福祉学部 435名
教育学部児童教育学科 268名
教育学部保健教育学科 357名
看護学部 370名
社会福祉学研究科修士課程 6名
教育学研究科修士課程 4名
看護学研究科博士前期課程 2名
看護学研究科博士後期課程 12名
- 教員一人あたりの学生数：社会福祉学部 26名 教育学部 24名 看護学部 12名
- 卒業生数(学部)：累計5,901名
- 卒業生数(大学院)：累計66名
- 社会福祉士合格者数：累計1,695名(※累計人数は全て既卒者込み)
- 精神保健福祉士合格者数：累計322名
- 看護師合格者数：累計1,110名
- 保健師合格者数：累計 481名
- 助産師合格者数：累計 16名

令和4年度卒業式について

令和4年度の卒業式は、以下の日程にて挙行いたします。
今年度は3年ぶりに保護者の方にもご来場いただけますので、万障繰り合わせの上ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。

令和5年3月16日(木)
9:00～17:00

※各学部の開式時間につきましては、2月下旬から3月初旬に
改めてご連絡させていただきます。

今年度は卒業式の日を盛大なイベントデーとして、式典や写真スポットの設置だけでなく、保護者の皆様や教員、後輩の在学生など卒業生に関わる全ての人たちと思い出を振り返り、感謝の気持ちを伝え合うことができるような企画を予定しております。卒業するご子女の晴れ姿をご覧いただき、門出の祝福を賜れればと思います。

編集後記

新型コロナウイルスの影響で2020年は開催自粛、2021年はオンラインのみでの開催となっていた大学祭を今年は2019年以来3年ぶりに来場型で開催することができました。
本誌でも記載しましたが、来場型開催を知っている学年が4年生のみとなり、1,2年生で構成する大学祭実行委員会には当時の様子を知っている学生がおらず、企画立案、準備、当日の運営まで手探りの中、試行錯誤しながら大きな事故やトラブルもなく成功させた学生の努力と実行力にただただ感動を覚えしました。大学職員として学生に関わっている醍醐味を再認識するとともに、素晴らしい学生をお預けいただいている会員の皆さまに感謝の念しかありません。
今後も学生の学びや成長を全力でサポートさせていただきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

大学の取り組み

赤穂市内限定で利用できる シェアサイクル導入

学生の学外でのクラブ・サークル活動時の移動やお昼休み、授業の空きコマ等の際に利用できる自転車シェアサービス「COGOO」を開始しました。本学の学生・教職員であれば、専用アプリをダウンロードし、簡単な設定を行うだけで利用できるようになっています。

赤穂市内で人気のお店やスポットの紹介も行っており、学生生活の充実と地域の活性化に繋がればと思います。



人気スイーツが大学にやって来る

9月から不定期でキッチンカーの学内出店がスタートしました。

第1弾は9/21(水)にアイスクリーム専門店「キッチンカー ルーナ」が出店し、季節のフルーツやお菓子、ソースなどのトッピングが自由に選べ大人気でした。

第2弾は10/13(木)にジェラート「TETE」とクレープ「39cafe」、第3弾は10/25(火)にワッフル「puala」とクレープ・プリン「あまいタンス」とそれぞれ2台が出店し、いずれも売り切れとなる大盛況でした。

今後も学生サービスの一環として不定期にはなりますが、継続を予定しています。

